

2023年7月～2024年2月実施

「ちばふるさとプロボノ」 事業概略説明

ちばの農・林・水産業をはぐくむ活動を
地域を越えて「一緒につくる」

認定NPO法人
サービスグラントが
全国で展開中



ちばふるさと
プロボノ



千葉県内の支援希望団体と全国のプロボノワーカーがつながるサポート！
～千葉県のコーディネーター団体としてNPOクラブが実施中～

資料作成協力：
認定NPO法人サービスグラント

資料作成：
認定NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ（NPOクラブ）

まず、私たちNPOクラブについてー

行政をはじめ様々な組織と連携しながら、
NPO・市民活動を支援し、地域づくりのための
コーディネートを行う千葉県域で活動する
中間支援団体です



認定NPO法人

ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
(通称 NPOクラブ) の実施事業

広報事業

- ・ホームページ、ブログ、
Facebook、Twitter 発信
- ・ニュースレター発行(4回/年)

NPO 支援事業

- ・NPO の運営相談対応、講座企画、講師派遣
- ・助成金等の情報収集、発信
- ・千葉県市民活動団体マネジメント講座企画運営

地域づくりのコーディネート事業

- ・四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業
- ・多世代交流拠点「おおなみこなみ」運営
- ・生活クラブ安心システム地域づくり(コミュニティデザイン)事業
- ・千葉県ボランティア参加促進事業(プロボノチャレンジ2021)

★ちばし地域づくり大学校企画運営

2019年から実施

- ・八街市協働のまちづくり
コーディネーター育成事業

災害支援、被災者支援事業

- ・福島県県外避難者支援・相談事業
- ・千葉南部災害支援センター事業、
★災害支援ネットワークちば(CVOAD)
運営事務局

他組織・行政との連携・協力

- ・NPO 法人地域創造ネットワークちば
- ・公益財団法人ちばのWA 地域づくり基金
- ・生活クラブ千葉グループ協議会
- ・千葉県社会福祉協議会
- ・千葉県、千葉市、松戸市、習志野市、大網白里市、印西市、船橋市

組織運営

理事会(5回/年)、事務局会議(2回/月)、
認定NPO 法人の継続申請(PST 相対値基準適用)

プロボノとは？

仕事で得た知識や経験、専門性を活かした
ボランティア活動のひとつの形

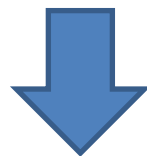
NPOクラブの「プロボノ」事業の実施について

NPOクラブでは、
「ちばプロボノチャレンジ」2019～2021
を3年間実施

プロボノで支援を受けたい千葉県内の団体と
ボランティア参加したい人3～5人をチーム編成して、
期間を限定したプロジェクトとして実施し、
一定の課題解決に取り組みました
(20団体と延べ64人の参加者をマッチング)

今年度の「ちばプロボノ」の実施について

コロナ禍を経て、プロボノでもオンライン支援が一般化した今、
支援団体とプロボノワーカーは県の垣根を越えて
ボーダレスにつながりやすくなった



～もっと自由にやわらかにつながる～

全国で展開している「ふるさとプロボノ」の枠組みの中で、
NPOクラブは、千葉県域のコーディネート団体として
2023年度はプロボノ事業を実施します

プロボノプロジェクトを全国展開している
NPO法人サービスグラントと連携して、同法人運営の
プロボノのマッチングサイト「GRANT」
を活用したプロボノ事業「ちばふるさとプロボノ」
を2023年度は実施



認定NPO法人サービスグラント

プロボノ*プロジェクトを、2005年からコーディネート。これまでに参加したプロボノ
ワーカーは約5,000名、実施プロジェクトは1,000件を超える、国内最大規模のプロボノ
運営団体です。行政、企業との協働実績も豊富。

『ふるさとプロボノ』

『ちばふるさとプロボノ』とは？

ふるさとプロボノは、**農林水産業に関わる地域の活性化に取り組む地域コミュニティや団体**と、地域外のビジネスパーソンやクリエイターをつなぐプログラム。

ソトの人が地域の暮らしや、なりわいを現地滞在で実体験して理解するとともに、仕事で培ったスキルや経験の提供（プロボノ）により地域コミュニティの活動基盤強化や、地域の活性化を応援する「**課題解決型 地域交流プログラム**」です。農林山間部地域の交流人口も創出します。

本事業は、農林水産省「農山漁村振興交付金（地域活性化対策（農山漁村関わり創出事業））」の採択を受けた事業となります

『ふるさとプロボノ』導入の実施体制

地域コミュニティや団体

NPO法人、任意団体、協会、協議会、自治体、
一般社団法人、地域商社、まちづくり会社等

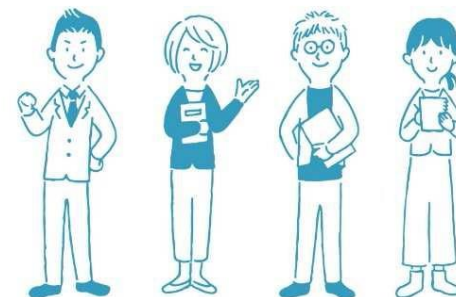


ふるさとプロボノ

成果物を提供するプロジェクト
×
現地滞在のコミュニケーション

地域外からの参加者

営業職、マーケティング、宣伝、経営戦略、
総務、経理、コンサルタント、デザイナー等



プロジェクトの相談
相談対応、進行フォロー

NPOクラブ

地域コーディネーター

ボランティアセンター、市民協働センター、社会
福祉協議会、中間支援組織、関係人口案内所、地
域おこし協力隊ネットワーク、自治体等



進捗確認

連携

自治体

連携

研修、相談、交流会等

**SERVICE
GRANT**
認定NPO法人サービスグラント



心のどこかが、
移住する。

「みんな元気であるかな？」

「作ったもの、ちゃんと役立っているといいな」

「休みを取って、また会いに行こうかな」

都市の人が、地域の人と悩み、考え、

成果物を生みだしてゆく。

そこに芽ばえる、お互いへの親しみ。

遠く離れた都市に住んでいても、

地域のことを時々気にして、身近に思う。

そんなゆるやかで温かいつながりを、日本中に。



「ふるさとプロボノ」の特設サイト
<https://furusato-probono.jp/>

「また会いたい」。地域のリアルに五感で触れて 地域への愛着が生まれる「コミュニケーション」

地域のなりわいを体験



農業体験。地域資源の収穫を通して、リアルな暮らしに触れる（長野県高山村）



林業体験。山や地域の話聞き、五感で地域の現状を知る（長野県伊那市）



漁業体験。地域の方の日常に混ざり、地域の魅力を直接伺う（岩手県大船渡市）

地域の人々から、地域づくりの活動や、思いをヒアリング



地域の現状や活動について話を聞くと、“他人事”ではなくなる（島根県益田市）



課題解決の成果物を作るため、地域の方々にヒアリングを行う（長野県高山村）



地元の食と酒を囲みながら、地元の方々と打ち解けていく（兵庫県上郡町）

現地滞在とリモートを活用『ふるさとプロボノ』の流れ

①キックオフミーティング



地域の農林水産業や移住交流施策、地域団体情報を聞きながら、プロジェクトの成果や方向性を確認（鹿児島県種子島）

②現地滞在（活動体験）



農業体験を行いながら、地域のなりわいや暮らし、目指す先や課題を見聞きする、五感で地域を知る経験（福井県勝山市）

③現地滞在（ヒアリング）



プロボノ活動として、地域の方々にヒアリングを行う参加者。並行して文献調査等から情報収集と分析を進める（長野県高山村）

④中間提案ミーティング



これまでの活動についてまとめ、プロジェクトの進捗共有と、成果物の方向性をリモートで提案（福島県南会津町）

⑤成果物制作を進め、納品



ウェブサイト改善提案

活動マニュアル作成

チラシ作成

Facebookページ立上げ

⑥現地滞在（団体が成果物を活動に役立てる）



成果物を納品した後、団体が成果物を役立てるための地域連携会議「第3回 アフタープロボノミーティング」にも参加（長野県高山村）

特徴は「プロジェクト型」。ソトの人も 関わりやすく、地域の課題解決も前に進む。

明確で具体的な ゴール

地域団体の役に立つ
具体的な成果物
を提供

情報発信の強化や、運営・収益の改善・円滑化につながる成果物

ウェブサイト改善

動画編集・制作

マーケティング

SNS運用提案

活動運営マニュアル作成

新商品開発

チラシ作成

顧客管理、情報整理

講師、先生 等々

仕事と両立可能な 活動時間

参加者は週 **3-5**時間
平日夜や土日に活動

開始前に合意する スケジュール

ゴールに向けた
1-3カ月の具体的な
アクション

目標とする活動内容・成果物等の名称・タイトル			
Instagramの活用レポート			
完了予定日			
2020年2月29日			
5%			
キャプション	実施予定日		完了日
	当初	修正	
1. キックオフミーティング	11月10日	11月13日	11月13日
▶ 2. ヒアリング	11月20日		
3. 中間提案	12月20日		
4. 最終提案	2月29日		

[最終更新日: 2019年11月7日 08時49分]

『ふるさとプロボノ』のその後

1



友人や家族を連れて「第二のふるさと」を再訪

プロジェクト完了から旭カ月後、石川県津幡町や島根県松江市大根島、千葉県館山市等では、プロボノによって「第二のふるさと」となった地域を再訪する参加者の姿がありました。友達や家族を連れて、または参加者同士で、「また会いたくなる」関係となった地域の方々と共に農業体験や漁業体験に取り組み、成果物の活用状況を伺いながら、地域との交流を深めました。

2



提案実現のため引き続き関わる

地域内連携による「ワインぶどう収穫体験のモデルツアー」等の成果物を納品した長野県高山村では、プロジェクト完了後から早速「アフタープロボノミーティング」を地域みなさんが自主的に開始。その打合せに参加者も同眩して意見交換をしたり、ツアー実現に向けた進捗共有をFacebookグループで行いながら、半年後に実施されたツアーにも参加しました。

3



個人的なプロボノ活動で関わり続ける

プロボノを通じて、地域コミュニティや団体の組織基盤強化における自らの「関わりしろ」を見つける参加者。静岡県東伊豆町では、財務経理のプロボノ支援や、プレゼン資料のブラッシュアップなど、プロジェクト完了後も個人的なプロボノ活動を継続する例も現れました。

ふるさとプロボノは、プロボノマッチングサイト「GRANT」 を活用して進行します

参加者（プロボノワーカー）が自分に合ったプロジェクトを探しやすく、
受け入れ団体の負担も少なく、関係人口が目に見えるツールです

＜NPO法人サービスグラントがサイト運営＞

GRANT by service grant

参加者登録 > 参加者にログイン > 団体のサイン >

**もっと気軽に
社会参加しよう**

GRANTはあなたの社会参加を応援するプラットフォーム。
支援を求めるNPOや地域団体と、経験や得意なことを
活かしてみたいあなたをつなぎます。

参加登録する >

新規団体登録は [こちらから](#)

GRANTでは、さまざまな「社会参加」が進行中です

参加登録者	団体	コーディネーター	プロジェクト		
1127 人	346 団体	51 団体	募集中 19 件	進行中 65 件	完了 215 件
参加登録する >	団体のみなさまへ >	コーディネーターへ >	プロジェクト一覧 >		

「GRANT」へはこちらから！

【動画】GRANTで「ふるさとプロボノ」を日本中にもっと！
関係人口創出へ

<https://www.youtube.com/watch?v=6aukdZOdy4E&t=28s>

<https://grant.community/>



GRANT 3つの特徴

(NPO法人サービスグラントが運営するサイト)



団体の負担を最少化するシステム プロジェクト（支援募集）記事作成からマッチングまで、雛形とガイドがサポート。いつでも、いくつでも募集可能。



コーディネーターの負担を最少化するシステム 募集記事の編集や、プロジェクト進捗のアラート機能、代理ログインなど、コーディネーターが団体をフォローしやすい機能。

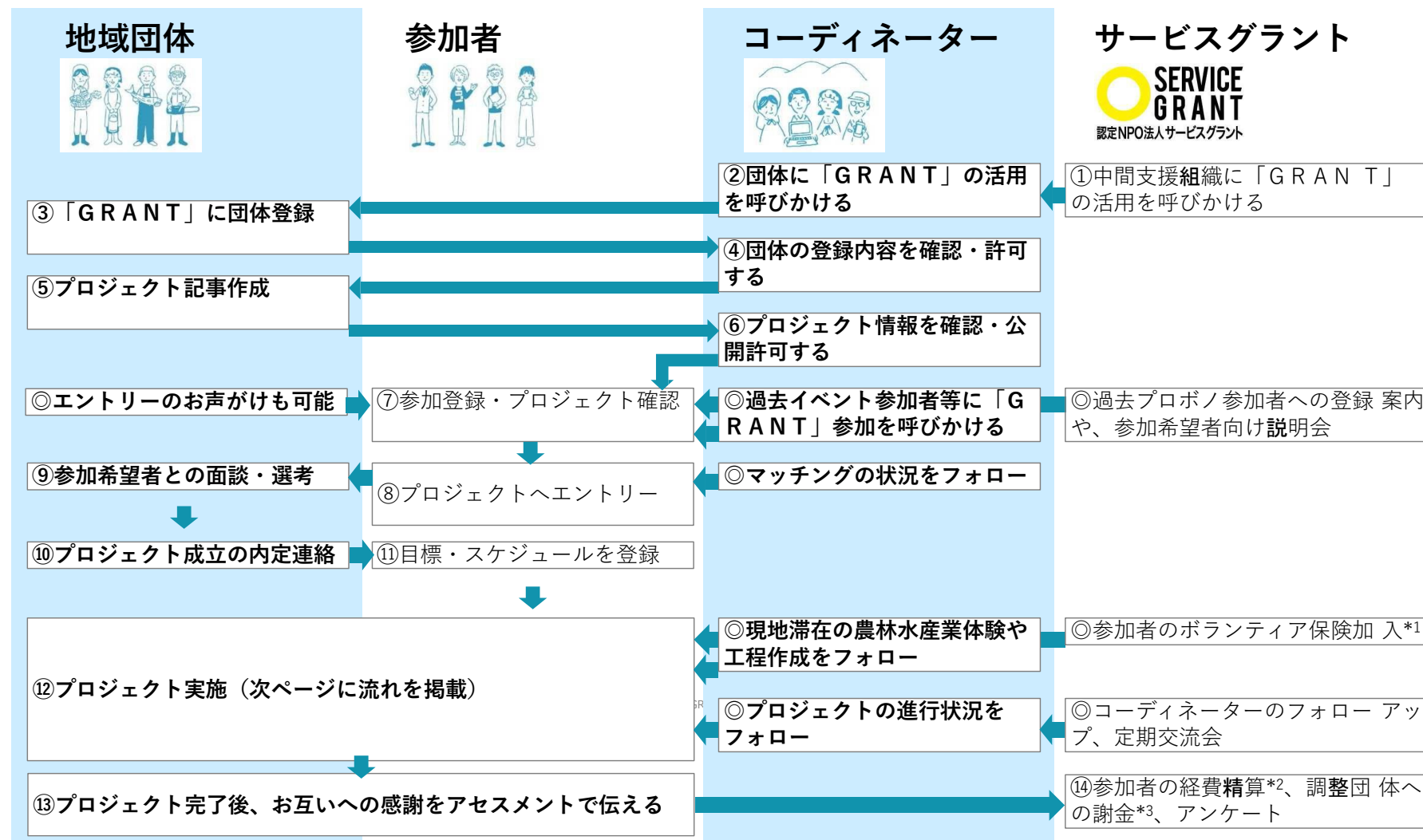


スキル・経験を社会に役立てたいと、約1,000名が登録 複数名からの参加希望や、直接お誘いすることも可能。ニーズに応える「目標・スケジュール」は参加者が提案します。

しかも「GRANT」は、これらのシステム利用が無料です。

地域団体・コーディネーター・参加者ともに、システム利用において、利用料・手数料・会費等の費用は一切発生しません。

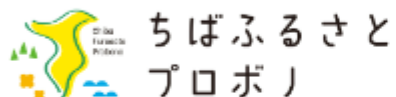
GRANT 実施の流れ・役割



*1,2,3 地域内への導入を目指して2022-2023年度までサポート 15

千葉県域のコーディネーター
団体として「GRANT」サイト
上にページがあります

ちばふるさとプロボノ



千葉県全域 [コーディネーター団体情報](#)

農林水産業と密接に関わっている地域では、地域づくりと産業の振興は切っても切り離せません。農林水産業を行う地域の人々と、都市に暮らす人々をつなぎ、新たな変化をよびこむプロジェクトです。プロボノを通じて、農林山間部の地域活動の土台を強化すると同時に、都市の人々に農林水産業のリアルな体験を提供し、第2のふるさとと感じてもらえるようなご縁を結ぶプロジェクトです。

コーディネーター

認定NPO法人 ちば市民活動・市民事業サポ
ートクラブ (通称 NPOクラブ)



2000年に設立して以来、市民が主体のまちづくりを支援する活動を千葉県全域を対象とした中間支援組織として続けてきました。市民ひとりひとりが、地域の課題を他人事とせず、自身の課題として考え行動し、暮らしやすい社会を創るために、次の主に3つの事業を行っています。

- ①地域づくりのコーディネート—地域の交流人口をふやす
- ②NPOの支援事業—地域課題を解決する力をつける
- ③災害・被災者支援事業—災害に対応できる地域にする

地域づくりのコーディネート事業として、2019年よりチーム型のプロボノプロジェクトのコーディネートを行ってきました。

<https://npoclub.com>

問い合わせ先

所在地
261-0011
千葉県千葉市美浜区真砂5-21-12

電話
043303-1688

メール
npoclub3@gmail.com

お問い合わせページ
<https://forms.gle/tWtVC6aGk2EaUPb8>

担当 赤木

フォローする



フォロワー 9

登録団体数 2

プロジェクト 完了 4 進行中 0

団体満足度 5.0 ★★★★★

参加者満足度 4.0 ★★★★★☆

はじめて利用する団体はこちらから

団体新規登録

※ [団体登録の基準](#) をご確認ください

団体登録は
ココから！

2023年度「ちばふるさとプロボノ」の特徴

都市部など他地域に暮らす人々に、農林水産業を行う地域の人々と交流し、現地での理解を深めていただくため、旅費や経費のサポートがあります。下記の対象領域に該当する支援先と参加者、支援内容のプロジェクトについて、プロジェクトが完了した場合、以下を一定額 または 全額補助します。

<参加者への補助>

- ・参加者のボランティア保険（全額）
- ・現地訪問の旅費（現地までの交通費、地域内の移動費、現地宿泊費）
全額の8割、参加者1人あたり、通算4回、合計15万円まで補助
1回の滞在単位は半日の作業体験を含む2泊3日以上、1プロジェクトの期間は1ヶ月以上
（対象市町村以外に居住する、日本国籍又は永住権を有する60歳未満の方が補助対象です。
同行のパートナーも一定の条件のうえで補助。条件の詳細は「GRANT」サイトでご確認ください）

<現地受け入れ団体への補助>

- ・プログラム実施にかかる謝金、実費経費
＜半日以上の農林水産業の作業体験を含んだ2泊3日以上、参加者が
現地滞在するプログラムを実施してください＞
（滞在中の農林水産業の体験にかかった費用、ヒアリング会場費等の諸経費を一定額まで補助）

「ちばふるさとプロボノ」についての

【お問い合わせ・事務局】



認定NPO法人

ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

(NPOクラブ)

担当 赤木

千葉県内で支援希望
の団体の方は、まずは
ご連絡ください！

〒261-0011 千葉県美浜区真砂5-21-12

TEL : 043-303-1688 FAX : 043-303-1689

Email : npo-club@par.odn.ne.jp

ホームページ : <https://www.npoclub.com>

プロボノでのボランティア参加
ご希望の方も、「GRANT」を
ご覧ください！

■ ちばふるさとプロボノ については 「GRANT」サイトをご覧ください
「ちばふるさとプロボノ」のページ

https://grant.community/tiba_probono

NPOクラブは千葉県全域を対象としたコーディネーター団体として、
プロボノが円滑に、より効果的に進むようサポートします

